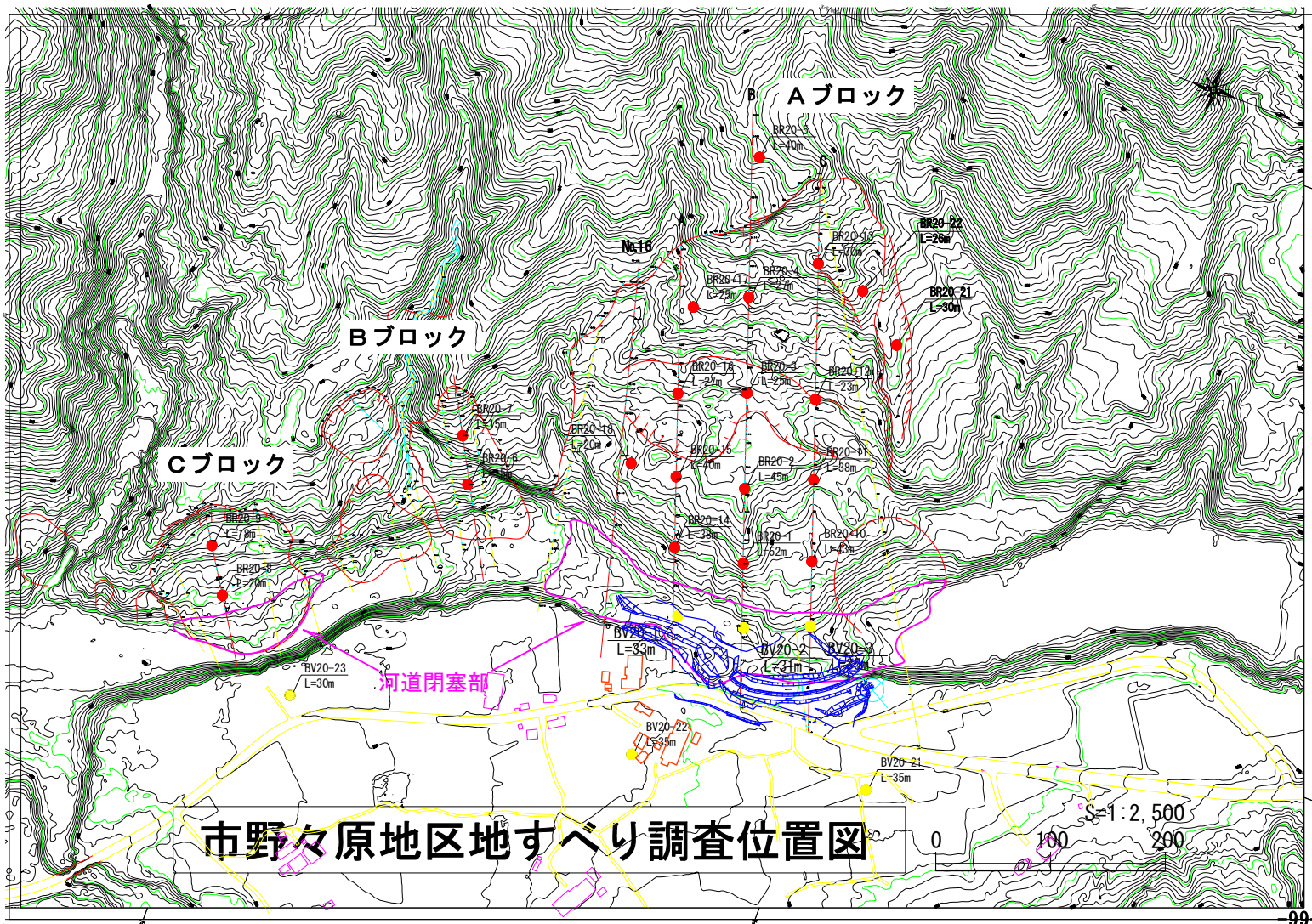
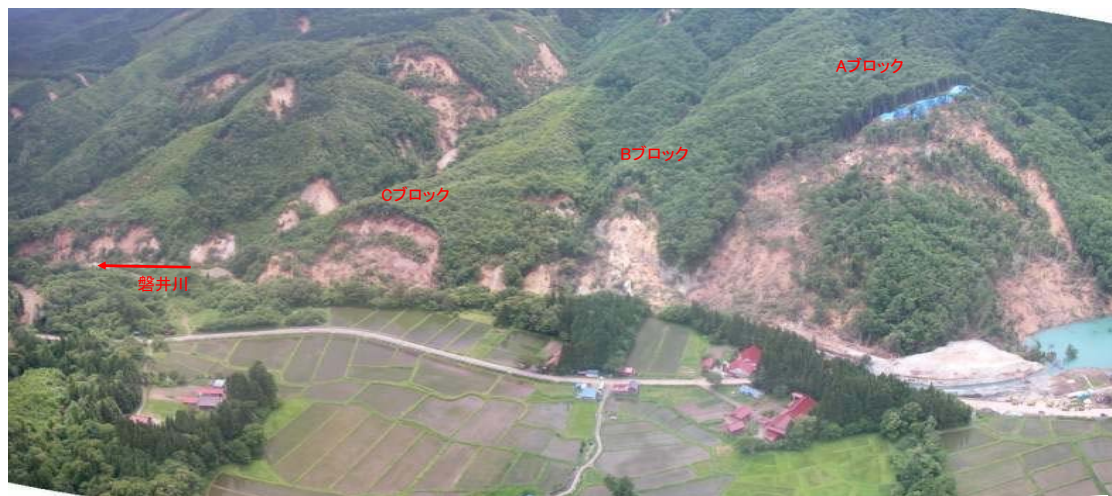


(9) 市野々原地区すべり（地すべり現況・調査結果）





市野々原地区地すべり全景



Aブロック内縦断全景



Bブロック右側部の崩壊(隣接する沢に向かう)



Bブロック左側部の崩壊状況



Bブロック崩壊状況



Bブロック頭部滑落崖状況



○ブロック滑落崖全景



○ブロック内斜面状況



○ブロック 移動岩塊



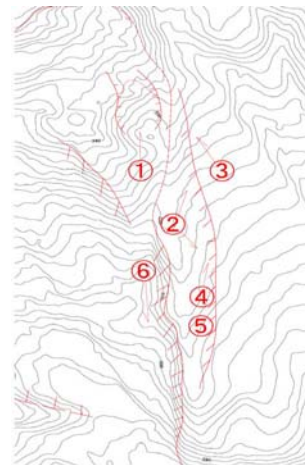
○ブロックすべり面(風化凝灰岩)



①陥没を伴う段差地形



②100m以上の連続した亀裂(最大比高1.0m, 深さ1.4m)



写真撮影位置



③斜面上部の亀裂状況



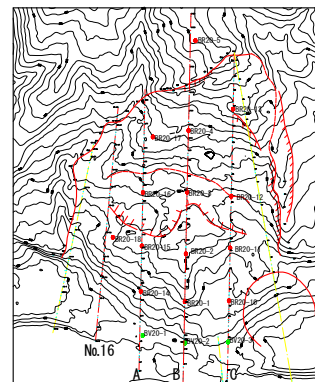
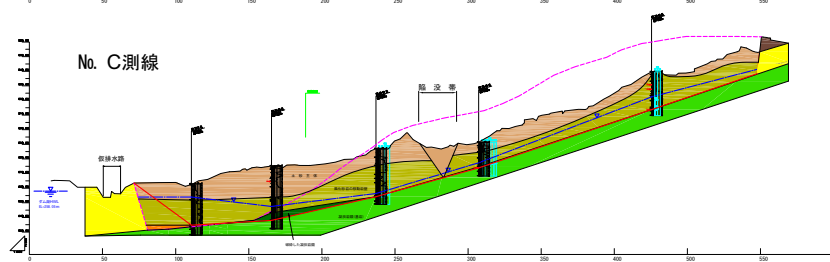
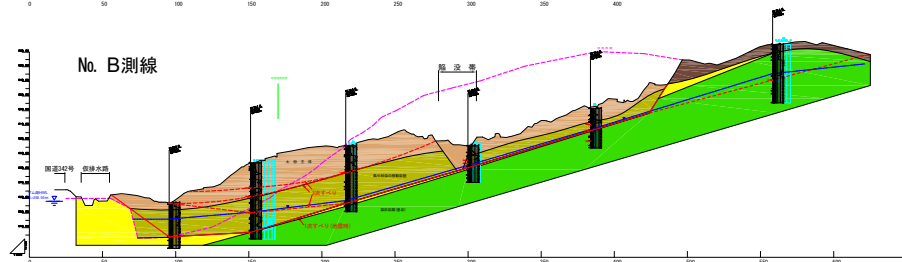
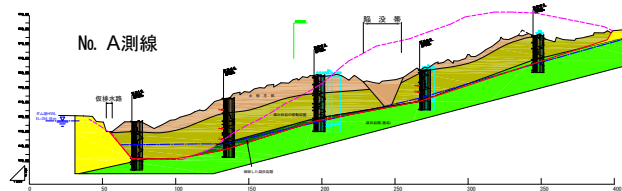
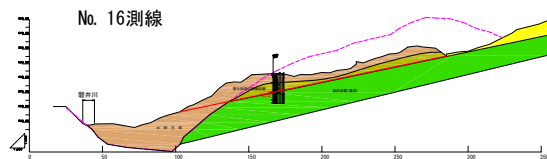
④主ブロック側に段差を伴い沈んだ亀裂



⑤開口した亀裂



⑥主ブロック側の側壁(地質は安山岩転石を混じる土砂)



調査位置略図

地層層序表

地質時代	地層名	岩相	特徴
新第三紀	礫河床堆積物	砂礫	巻井川河床に分布 B200.2孔25m付近に確認
	地すべり崩積土 ～粘性土	礫混り粘性土 ～粘性土	基盤斜面に広く分布 旧期の崩積土もある
	段丘堆積物	砂礫～粘性土	B～Cブロック上部の緩斜面に分布 層厚は3～5m程度?
	新期火山灰類	礫混り土砂	安山岩質の角礫～転石を混じる 地すべり山腹の上部に広く分布
第四紀	凝灰質砂岩		細粒均質な海成砂岩で特徴的に 凝灰岩を産する
	下風江層	粗粒砂岩	スコリアや石英角を含む
		凝灰岩～ 火山降灰凝灰岩	上位層に比べ著しく硬質 10～20°前後の流れ壁

すべり面深度一覧

孔番	すべり面深度	地質状況	水位
BR-20-1孔	46.4～47.5m	風化凝灰質砂岩の下面、緑灰色の礫混粘性土	33.73m
BR-20-2孔	39.3～39.55m	風化凝灰質砂岩の下面、礫混粘性土	37.40m
BR-20-3孔	14.6～14.9m	風化凝灰質砂岩の下面、礫混粘性土の破砕部	13.29m
BR-20-4孔	15.25m	風化凝灰質砂岩下面、以下は非常にルーズな土塊	14.44m
BR-20-5孔	24.35m	24.35mまでは風化岩で地質や不良	20.64m
BR-20-10孔	37.0～37.2m	火山降灰凝灰岩(破砕部)、破砕著しい礫混り粘土	28.20m
BR-20-11孔	32.55～32.85m	細粒砂岩の下面、礫混された礫混り粘土	30.62m
BR-20-12孔	15.85～16.85m	風化凝灰質砂岩の下面、粘土を伴う粗い礫混り砂	13.93m
BR-20-13孔	25.5～25.9m	風化砂岩の下面、礫混を伴う礫混り粘土	17.23m
BR-20-14孔	24.8～34.95m	火山降灰凝灰岩(破砕部)、礫混を伴う礫混り粘土	30.7m
BR-20-15孔	30.9～31.0m	火山降灰凝灰岩(破砕部)、礫混を伴う礫混り粘土	32.0m
BR-20-16孔	20.8～21.2m	火山降灰凝灰岩の上面、破砕粘土部	18.98m
BR-20-17孔	18.9～19.0m	風化泥岩の上面、乱れた礫混り粘土状	19.47m
BR-20-18孔	12.6～12.95m	風化凝灰質砂岩の下面、礫混著しい礫混り粘土	12.94m

[illegible]

BR20-1孔

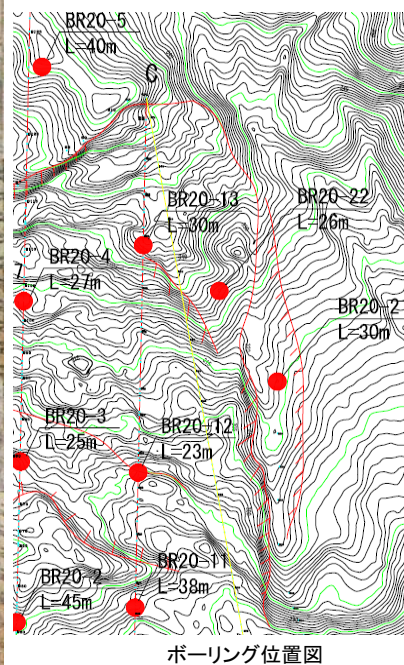
[illegible]

BR20-1 FL

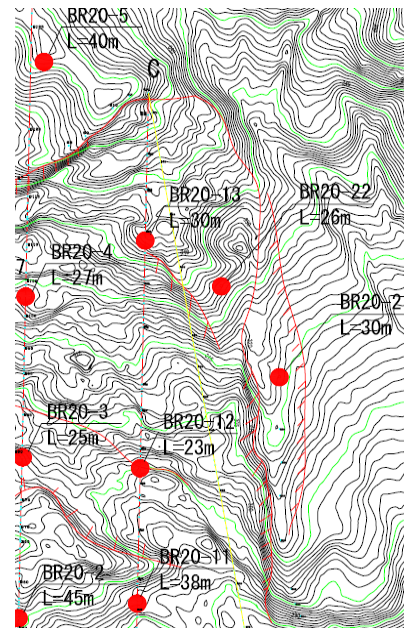
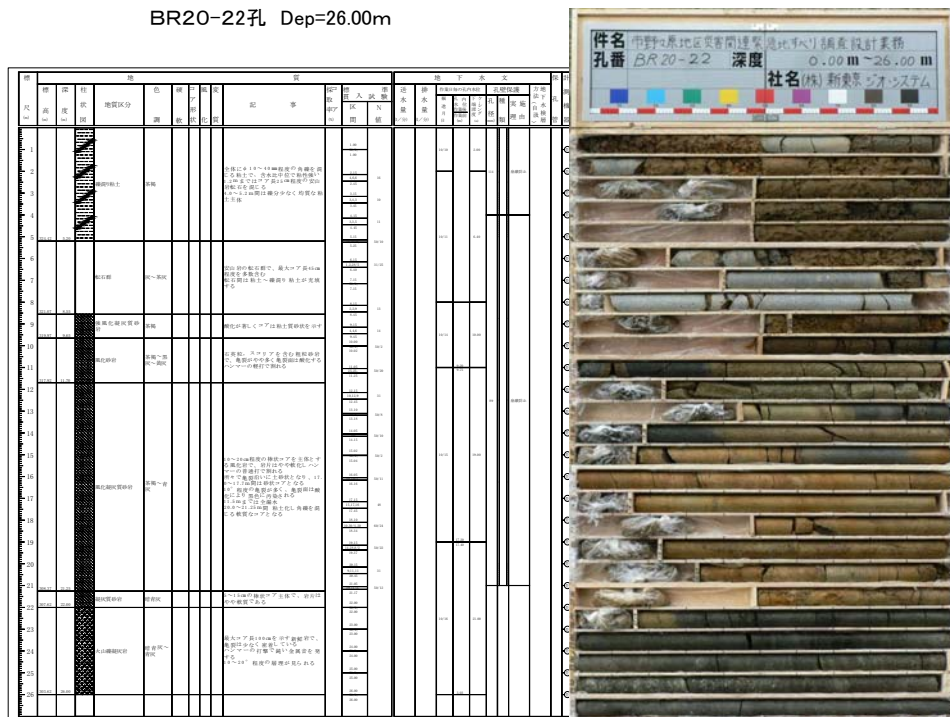
[illegible]

-107-

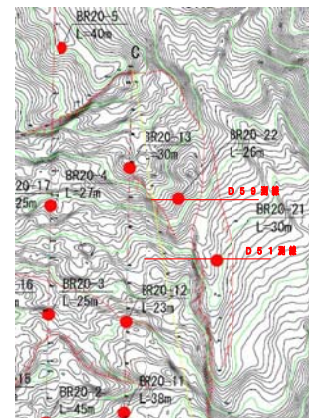
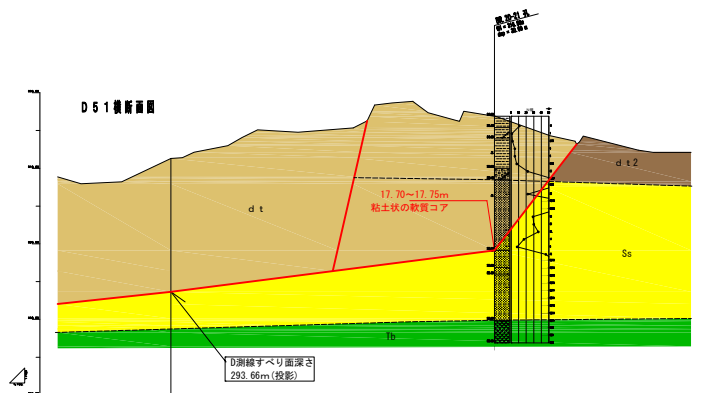
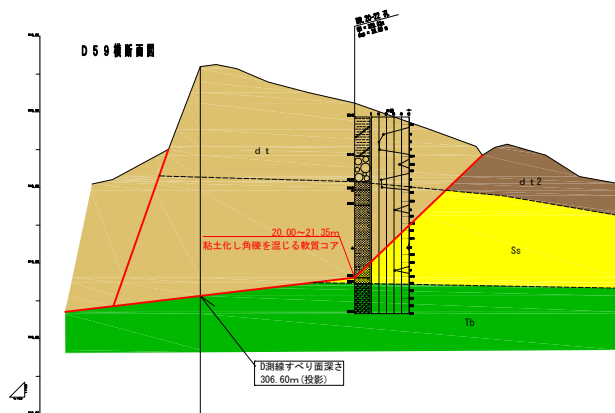
BR20-21 孔 Dep=30.00m

[illegible]

BR20-22孔 Dep=26.00m



ボーリング位置図



Aブロック左側壁部地質断面図

拡大した亀裂部分で確認された地質不良部は、主ブロック内と同様の地質状況にあり、すべり面深度との関係から考えて、連続するものと推定される。
ただし、歪み計観測では有意な地中歪みの累積は見られない。

